

G 空間 EXPO 2014 日本写真測量学会シンポジウム

「地球観測衛星に期待される新たな展開」

【主催】：一般社団法人日本写真測量学会、

(共催)：一般社団法人日本リモートセンシング学会、一般社団法人地理情報システム学会

- 開催日時：2014年11月13日(木) 14:00~17:00 (13:45受付開始)
- 開催場所：日本科学未来館 7F 会議室1 〒135-0064 東京都江東区青梅 2-3-6
- アクセス：新交通ゆりかもめ 「船の科学館」駅下車 徒歩5分
「テレコムセンター」駅下車 徒歩4分
東京臨海高速鉄道りんかい線 「東京テレポート」駅下車 徒歩15分

【趣旨】：

平成25年1月に発表された我が国の宇宙基本計画では、地球観測衛星によるリモートセンシングを社会インフラの3本柱の1つと位置付けています。本年5月24日、JAXAは陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)の打上げに成功しました。ALOS-2はALOSの後継機であり、空間分解能が1~3mの高性能合成開口レーダPALSAR-2を搭載しています。また、東京大学は本年6月19日に超小型衛星ほどよし3号、4号の打上げに成功しています。こうした中で、地球観測衛星にも新たな展開が期待されています。

本シンポジウムでは関連学会の関係者が一堂に集い、G空間において地球観測衛星の現状、ニーズ、今後の新たな展開について活発に議論することを目的としています。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

プログラム

	総合司会：リモートセンシング技術センター 技術参与 福田徹
14:00-14:10	趣旨説明 (千葉大学 准教授 本多嘉明)
14:10-14:30	「宇宙政策を巡る最近の動向について —地球観測衛星を中心として— (内閣府宇宙戦略室 参事官 前原正臣)
14:30-14:50	「地理空間情報としての地球観測衛星データ」 (国土交通大学 部長 小荒井衛)
14:50-15:10	「ほどよし衛星と基幹衛星のデータ融合を目指して」 (東京大学 教授 岩崎晃)
15:10-15:30	「NTTデータの衛星画像戦略」 (株)NTTデータ 部長 若松健司)
15:30-15:45	<休憩>
15:45-17:00	パネルディスカッション 司会：東京大学 准教授 竹内渉 パネリスト：各出席者
17:00-	閉会の辞 (東海大学 教授 長 幸平)